



# KLX110・KSR110 4速クロスミッションキット

## 取扱説明書

商品番号：02-04-256

適応車種およびフレーム番号

KSR110 : KL110A-000001~

KLX110 02モデル以降 : LX110A-A08133~

当社製『02-04-0022 4速シフトドラム』が別途必要になります。

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

### ～特徴～

純正トランスミッションの2速のギヤを利用し、1・3・4速をクロスレシオ化できるクロスミッションキットです。組み込みも純正ギヤと交換するだけのボルトオンとなっており、クランクケース加工等は必要ありません。

### ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

KLX110は、純正シフトドラムが3速仕様となっておりますので、当社製『02-04-0022 4速シフトドラム』が別途必要になります。

本キットはエンジン脱着やクランクケース分割までの作業が必要となり、作業には特殊工具を使用する箇所もあります。

作業内容は、純正ギヤとキットのギヤを交換するだけです。作業内容はカワサキサービスマニュアルに準じます。作業に必要となりますので、カワサキサービスマニュアルは別途ご用意ください。

取り付けには上記適用車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って頂く事になりますが、サービスマニュアルは基本的な技術や知識を持っている方を対象としていますので、技術や知識をお持ちでない方が作業を行った場合は、正しく組み付け出来ない場合や、部品を破損させる可能性がありますので、十分ご注意ください。

取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

本キットは、ギヤのみのキットです。エンジン分解作業で必要となるガスケット、パッキン、Oリング等の必要部品は一切含まれておりません。エンジン仕様に応じて別途お買い求め下さい。

ボルト、パッキン、ガスケット類で、磨耗や損傷の激しい物は再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

他社製品（エンジン、クラッチ等）との組み合わせは一切なさらないで下さい。部品を破損させる可能性があります。又、他社製品との組み合わせにより、部品が破損した場合、当社は一切責任を負いかねます。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて頂きます。ただし交換工賃等の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承ください。

記載内容や仕様などは製品の改良のため予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



### 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。  
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・本キット組み込み後のシフトチェンジパターンは純正と同じです。シフトチェンジはクラッチが完全に切れた状態で確実に行って下さい。無理にシフトした場合やマニュアルクラッチ車でクラッチを切らずにシフトした場合、ギヤ破損や他の部品の破損原因となります。
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
(部品の脱落の原因となります。)

